

Φ34 ビッグスロットルボディ KIT No.1/2

403-1300100

商品コード	403-1300100
適合車種	グロム (JC61/75) / モンキー 125 (JB02) NEO ボアアップ 164/181cc 仕様車 / DOHC181cc 仕様車
備考	※ノーマルエアクリーナー、ノーマルインジェクターでは対応できません。

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

△ご使用時の注意

- ノーマル車両から仕様が大幅に変わる為、インジェクションコントローラー (i-Map) が必要です。また i-Map の設定に無い組み合わせ (マフラー、カム、排気量) の場合は高い確率で再セッティングが必要になります。
- ビッグスロットルボディ KIT に対応した i-Map の燃調マップは、地域や個体差により、ベストな燃料セッティングが出ていない可能性があります。またオールシーズンには対応できなく、気候等の環境に合わせた再セッティングが必要になる可能性があります。

■製品、装着についての注意

- このパーツはレース専用設計です。従って本来はクローズドコース専用での使用を目的としている為、一般公道で使用される場合は道路運搬車輌法及び、道路交通法に従い、法定内での運転を心掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい
- 組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み付けミス及び、セッティング不良等によるエンジンその他関連パーツの破損、それに伴う事故等については全て運転手本人の責任とし当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず、整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 説明書に記載されていない改造や仕様変更等は絶対にしないで下さい。故障、破損の原因になります。
- また精密機械ですので、強い衝撃等を与えること、分解したりしないで下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。
- このパーツを装着することにより、出力特性がノーマルと異なりますので、その出力に見合ったブレーキの強化、操縦安定性の向上等を施し、十分注意してライディングして下さい。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意下さい。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。

パッキンリスト

図記号	パーツ名	商品コード	個数	図記号	パーツ名	商品コード	個数
1	スロットルボディ (Φ 34)	403-1300101	x1	5	キャップボルト M6x30	-	x2
O	リング	403-1300102	x1	6	スペーサーカラー 6x12xt5.0mm	-	x2
2	ファンネル (Φ 34)	514-1300100	x1	7	シールリング	-	x1
ホ	ーローネジ	-	x2	8	インシュレーター (28mm)	999-1432000	x1
-	マニホールド set (Φ 34)	410-1300100	x1	9	O リング (33.2x2.4)	967-1432000	x2
3	マニホールド (Φ 28/34)	410-1300101	x1	10	ジャンパーハーネス	764-9011001	x1
4	インジェクター用インシュレーター	-	x1	11	サービスコネクタ 4P	764-9011002	x1

純正パーツ

図記号	パーツ名	個数	図記号	パーツ名	個数
N1	ファストアイドルソレノイドバルブ (2P/ 灰カブラ)	x1	N4	インジェクター	x1
	トルクスクリュー (IAC ハルフ取付スクリュー)	x2	N5	インジェクタジョイント	x1
N2	スロットル開度センサー (3P/ 黒カブラ)	x1	N6	フランジボルト M6x22	x2
	トルクススクリュー (スロットルセンサー取付スクリュー)	x1	N7	フランジボルト M6x30	x2
N3	スロットルケーブルブレacket	x1	N8	スロットルケーブルカバー (取付ボルト / ワッシャ)	x1
	ブレacket取付スクリュー	x1			

オプションパーツ

大容量インジェクター	x1.6	403-9000020
	x1.9	403-9000030
	x2.6	403-9000040

製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う故障、破損、事故等についてのバーツ代金、整備費用の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。

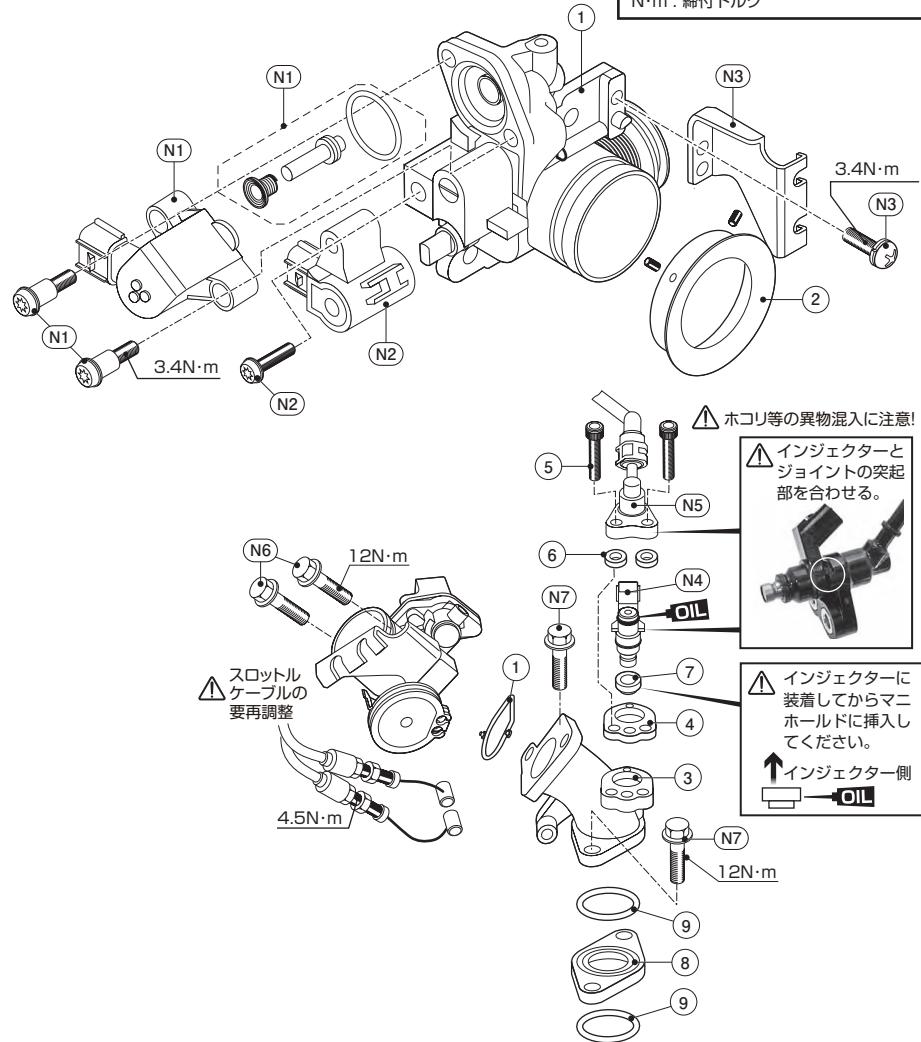
スロットルボディ展開図

図は、ビッグスロットルボディの部品及び、それに関係する純正部品を記載しています。

他の部品の記載は省略しています。

※純正パーツに摩耗、傷等がある場合は新品に交換して下さい。

(N) 純正再使用
OIL マークは使用するエンジンオイルを塗布
N·m : 締付トルク



△注意

スロットルボディと各センサー、インシュレーター、フューエルインジェクタの組み立て後は、スロットル開度センサのリセットを行って下さい。(別紙 No.2 に記載)

Φ34 ビッグスロットルボディ KIT No.2/2

商品コード 403-1300100

取付手順

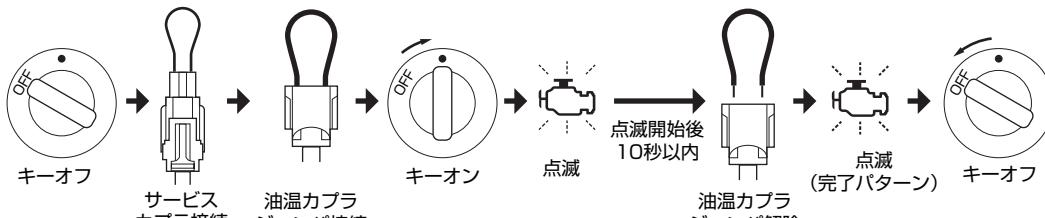
●取り外し

- 1 エアクリーナの接続を外してスロットルボディから取り外します。
- 2 スロットルケーブルカバー（取付ボルト／ワッシャ）を取り外します。
- 3 スロットルボディから (N3) スロットルケーブルブラケット及び、ケーブルを外します。
- 4 (N1) ファストアイドルソレノイドバルブ【IACバルブ】(2P/灰)、(N2) スロットル開度センサー(3P/黒)、(N4) フュールインジェクター(2P/黒) カプラを抜きます。燃料蒸発ガスバージホースもインテークマニホールドから外します。(燃料蒸発ガスバージホースは使用しない為、走行の妨げにならないよう各自で処理してください)
- 5 インテークマニホールドから (N4/N5) インジェクタ／ジョイントのボルト2本を外し、インジェクタを外します。
- ※ インジェクターの脱着時、インテークパイプ等、インジェクター周辺パーツ、フューエルホースには絶対にホコリなどが入らない様ご注意下さい。万が一ホコリ等が入ってしまうとインジェクターが目詰まりを起こし正常に作動しなくなる恐れがあります。
- 6 スロットルボディ、インテークマニホールド、インシュレーターを外します。各 M6 フランジボルト 2 本（計 4 本）は再使用します。

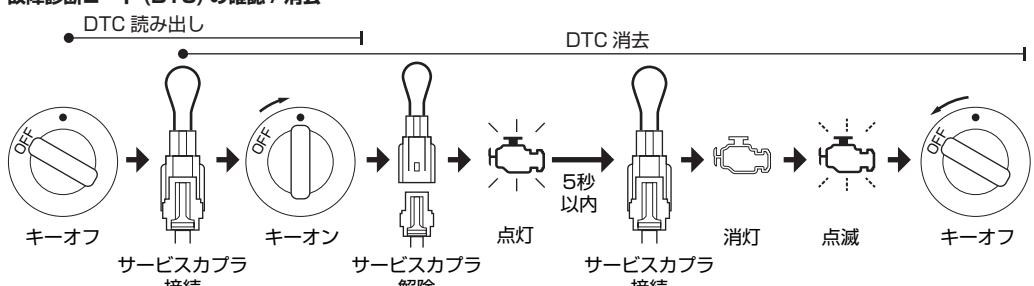
●取り付け

- 1 ビッグスロットルボディに以下の部品を組み付けます。
 - ・ (N1) IACバルブ（ファストアイドルソレノイドバルブ）
※ バルブシート、スプリング、Oリングに破損などが無いか確認し、純正のトルクスクリューで装着してください。
 - ・ (N2) スロットル開度センサー（純正のトルクスクリュー再使用）
 - ・ (N3) スロットルケーブルブラケット（純正ネジ再使用）
 - ・ (2) ファンネル（付属のホーローネジ 2 本で固定）
- 2 付属の (3) インテークマニホールドに以下の部品を取り付け、シリンドーヘッドに組み付けます。
 - ・ (8/9) インシュレーター／Oリング
 - ・ (N4/5) インジェクター／ジョイント、(4) インシュレーター／(6) スペーサーカラー／(7) シールリング
- 3 スロットルボディとインテークマニホールドを純正のフランジボルトで組み付けます。
- 4 (N3) スロットルケーブルブラケットにケーブルを接続します。
- ※ この時、スロットルケーブルに適度な遊びが確保できる様にアジャストナットを取り付けください。遊びが無いとアイドリングの回転数が上がったままの状態になります。
- 5 (N1) IACバルブ(2P/灰)、(N2) スロットル開度センサー(3P/黒)、(N4) フュールインジェクター(2P/黒) カプラを接続します。
- 6 スロットル開度センサーのリセットを行います。
【リセット／読み出し／消去手順参照】

スロットル開度センサーのリセット手順



故障診断コード (DTC) の確認 / 消去



▼ スロットル開度センサーのリセット

スロットルボディ取り付け後など、下記のセンサーのリセット作業を行ってください。
※ 車種によりジャンパハーネスを使用する場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。
※ ECM に DTC* が保存されていない状態で、この作業を行って下さい。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行って下さい。(詳細は保存された DTC の読み出しと消去手順を参照)

*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes

*DLC = Data Link Connector

1 メインスイッチを "OFF" にして下さい。

2 各車種のサービスマニュアルでサービスチェックカプラ位置を確認の上、サービスチェック 4P または 6P (赤) カプラから、ダミーカプラを取り外します。付属のサービスコネクタをサービスチェック 4P または 6P (赤) カプラに接続して下さい。 [Fig.15 はグロム / Fig.16 はモンキー 125] Fig.11/Fig.12 はスーパーカブ 110 (JA10)

3 油温センサ（または水温センサ）コネクタを取り外し、KIT付属の「ジャンパハーネス」を接続して下さい。[Fig.13]

4 メインスイッチを "ON" にして下さい。

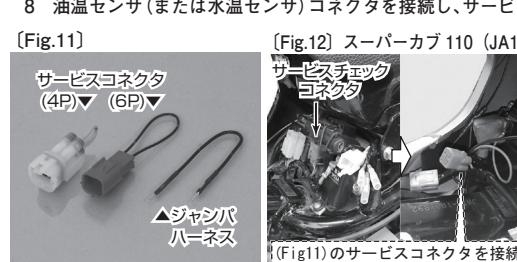
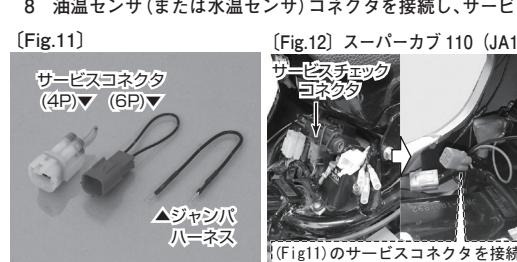
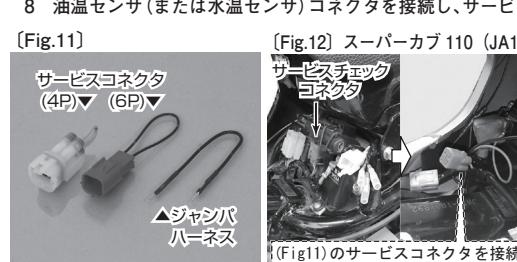
5 PGM-FI 警告灯 [Fig.14] が「リセット受信パターン」の点滅(1.2秒間隔)を始めるので、10秒以内に「ジャンパハーネス」を油温センサ（または水温センサ）コネクタから取り外します。

6 PGM-FI 警告灯が「リセット完了パターン」の点滅(0.3秒間隔)に変化し、リセットが完了。

※ 10秒以上経過した場合および手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となる。[リセット失敗]
再度、上記手順の 1. から作業を実施ください。

7 メインスイッチを "OFF" にして下さい。

8 油温センサ（または水温センサ）コネクタを接続し、サービスチェックコネクタからサービスコネクタを取り外してください。 [Fig.11]



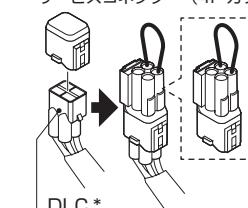
▼ 保存されている故障診断 DTC* の読み出しと消去

詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。

DTC の読み出し

*DLC = Data Link Connector

サービスコネクタ (4P カプラ)



・メインスイッチを OFF にする。

・DLC からのダミーカプラを取り外す。

・サービスコネクターを使用して DLC 端子を短絡する。

SP tool

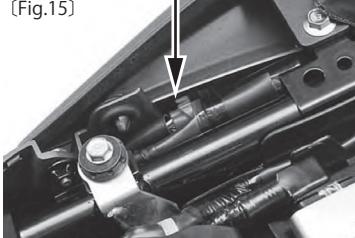
・メインスイッチを ON にする。

MIL (PGM-FI 警告灯) の点滅を読み、故障診断表を参照する。

・ECM のメモリ内に格納された過去の問題がある場合、MIL は 0.3秒間点灯して消灯し、DTC の点滅を開始する。

グロム (JC75) 右側シートレール付近
DLC サービスチェック / ダミーカプラ

[Fig.15]



モンキー 125 (JB02) 左側サイドカバー付近
DLC サービスチェック / ダミーカプラ

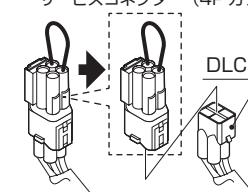
[Fig.16]



保存された DTC の消去

*DLC = Data Link Connector

サービスコネクタ (4P カプラ)



・サービスコネクターを DLC に接続する。

・メインスイッチを ON にする。

・DLC からのサービスカプラを取り外す。

・MIL (PGM-FI 警告灯) が 5 秒間点灯している間にサービスコネクタを DLC に再度接続する。(リセット受信パターン)

・MIL が消灯して点滅を始めたら、DTC は消去されている。(成功パターン)

・MIL が点灯している間にサービスコネクタを再接続させる必要がある。そうでないと、MIL は点滅を開始しない。この場合、メインスイッチ OFF でも、もう一度やり直すこと。

・MIL が点滅する前にメインスイッチを "OFF" にした場合、DTC が消去されないので注意すること。